

2013年3月期 上半期決算説明会

おいしさ、ふれあい。  
**アヲコ。リマム**

2012年11月20日

## 目 次

I.2013年3月期 上半期業績総括 (P.2~P. 10)

II.2013年3月期 業績見通し (P.11~P. 16)

III.ご参考資料 (P.17~P. 25)

# 2013年3月期 上半期業績総括

## 1.2013年3月期 上半期業績

### 【連結損益】

				(百万円)		(参考)
		2012年3月期	2013年3月期	売上比	前期比	5月発表時
売上高	利益	135,768	134,526	100.0%	99.1%	134,000
営業利益	益	3,740	3,655	2.7%	97.7%	3,100
経常利益	益	4,001	4,044	3.0%	101.1%	3,000
税金等調整前当期純利益		4,056	4,442	3.3%	109.5%	-
当期純利益	益	2,565	2,318	1.7%	90.4%	1,800

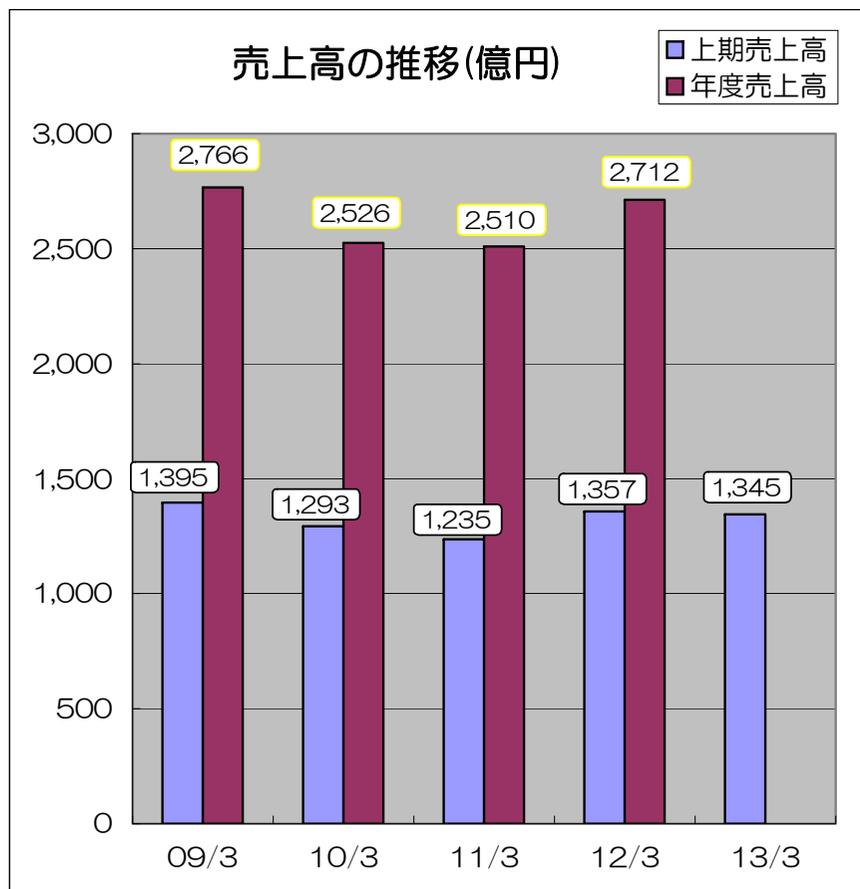
### 【セグメント別損益】

				(百万円)	
		2012年3月期	2013年3月期	前期比	
売上高	食肉事業本部	44,758	40,486	90.5%	
	加工食品事業本部	90,841	93,882	103.3%	
	その他	168	157	-	
営業利益	食肉事業本部	787	488	62.0%	
	加工食品事業本部	2,944	3,276	111.3%	
	その他	9	▲108	-	

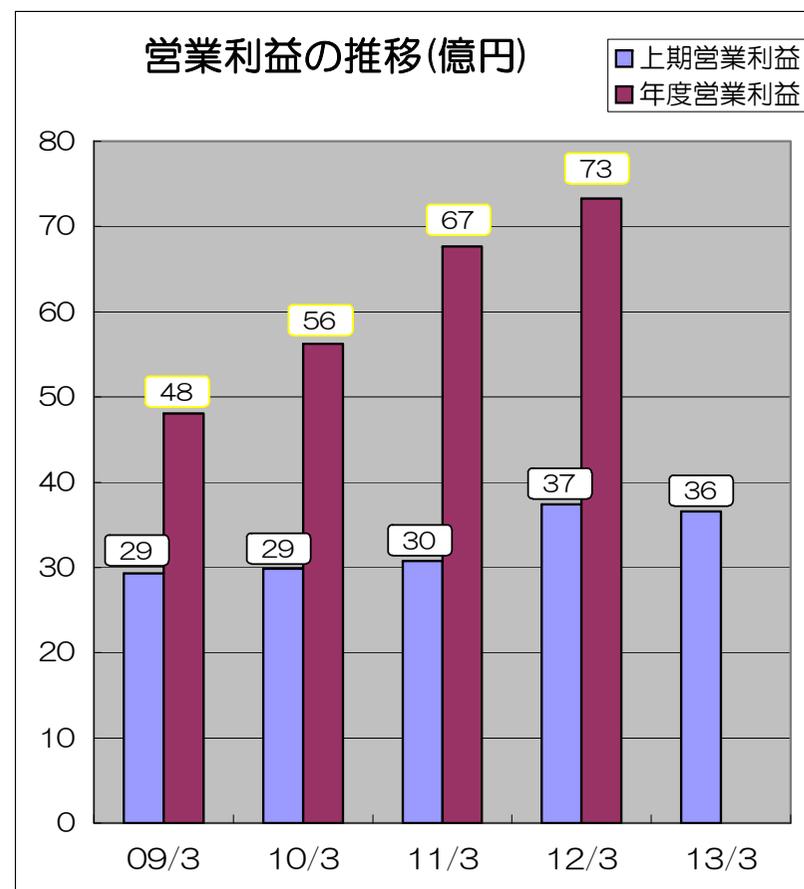
### 【個別損益】

				(百万円)	
		2012年3月期	2013年3月期	売上比	前期比
売上高	利益	102,295	99,446	100.0%	97.2%
営業利益	益	1,996	1,689	1.7%	84.6%
経常利益	益	2,046	2,111	2.1%	103.2%
税引前当期純利益		2,162	1,905	1.9%	88.1%
当期純利益	益	1,916	1,391	1.4%	72.6%

## 2.業績の推移



(注) 1 億円以下切り捨て



(注) 1 億円以下切り捨て

### 3.2013年3月期 食肉事業本部の上半期の状況

#### 事業環境

- 店頭売価の低迷とデフレマーケットの継続
- 食肉の現地相場高、飼料穀物高
- 国産豚肉相場の低迷
- 鶏肉の市中在庫過多と相場低迷

#### 施 策

#### 成 果

○国産豚肉の収益改善

- ・ 国産豚肉粗利益 前年比109%
- ・ 国産豚肉販売数量 前年比102%

○惣菜チャネル等新規  
チャネルの新規深耕開拓

- ・ チルド対応パック商品の販売
- ・ ネットスーパー販売に着手

○輸入牛肉・輸入豚肉の拡販  
を図るも数量減

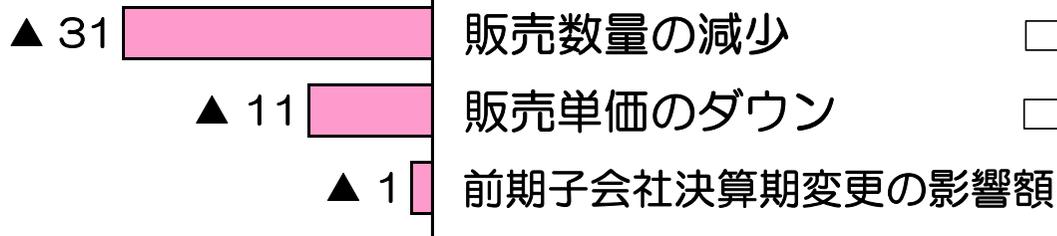
- ・ 輸入牛肉販売数量 前年比83%
- ・ 輸入豚肉販売数量 前年比87%

### 3.2013年3月期 食肉事業本部の上半期の状況2

損 益		(百万円)	
	2012年3月期	2013年3月期	前期比
売上高	44,758	40,486	90.5%
営業利益	787	488	62.0%

#### 収益の増減要因

##### ★売上高の減少

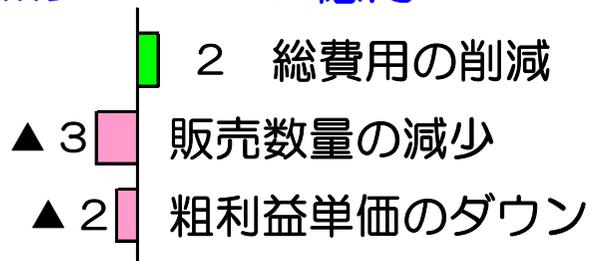


▲ 43 億円

##### ★主要要因

- ⇒ 輸入牛肉、輸入豚肉の数量減少
- ⇒ 国産豚肉、国産鶏肉の販売単価ダウン

##### ★営業利益の減少



▲ 3 億円

- ⇒ 支払手数料、運搬費、人件費の削減
- ⇒ 国産鶏肉、輸入牛肉の粗利益単価ダウン

## 4.2013年3月期 加工食品事業本部の上半期の状況

### 事業環境

- 節約志向による内食の増加
- 低価格志向による販売価格の低迷
- 重油・包装資材の値上がり、穀物価格の高騰
- 流通業界の再編、ドラッグ・ディスカウントなど販売チャネルの多様化

### 施 策

○重点商品を中心に販売活動を集中

○販売促進策の展開強化

○省人化推進と数量拡大

### 成 果

- ・販売構成比70%超
- ・商品規格数5%減（4～9月）

ハムソー販売数量  
前年比107%

- ・新規取引、取引の拡大
- ・おいしさ、ふれあいキャンペーン
- ・TDLダイヤモンドホースシューのんびり旅キャンペーン
- ・香薫ウインナー義援金キャンペーン

加工食品販売数量  
前年比102%

- ・本体4工場の「人・時生産性」向上

前年より  
11%アップ

## 4.2013年3月期 加工食品事業本部の上半期の状況2

損 益	(百万円)		
	2012年3月期	2013年3月期	前期比
売 上 高	90,841	93,882	103.3%
営 業 利 益	2,944	3,276	111.3%

### 収益の増減要因

#### ★売上高の増加

30 億円

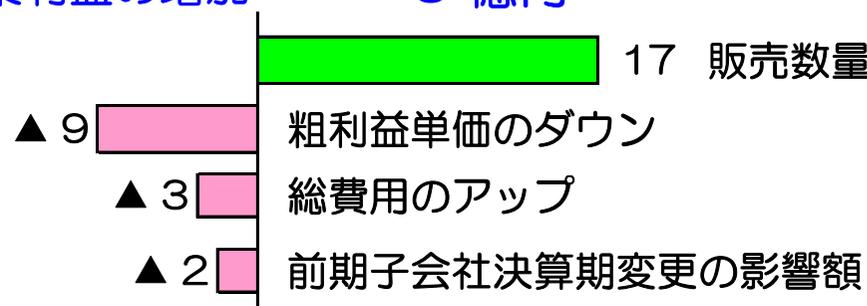


#### ★主な要因

⇒ 販売数量の増加(ハムソー・加工食品・惣菜等)  
 ⇒ ハムソー・食肉の販売単価ダウン  
 加工食品は販売単価アップ

#### ★営業利益の増加

3 億円



⇒ ハムソーの粗利益単価ダウン  
 ⇒ 販促費等の増加。製造費用コストは削減。

## 5.2013年3月期 上半期連結貸借対照表

(百万円)

	2012年3月末	2012年9月末	増 減
流動資産	52,693	52,443	▲ 250
固定資産	53,781	54,806	1,025
総資産	106,475	107,250	775
流動負債	49,031	48,490	▲ 541
固定負債	20,836	20,037	▲ 799
負債合計	69,867	68,527	▲ 1,340
株主資本	28,255	30,199	1,944
その他の包括利益 累計額	2,890	2,622	▲ 268
少数株主持分	5,461	5,901	440
純資産合計	36,607	38,722	2,115
負債純資産合計	106,475	107,250	775

### 【資産の部】

- ・ 現預金の減少 31億40百万円
- ・ 棚卸資産の増加 18億34百万円
- ・ 売上債権の増加 10億48百万円

### 【負債・資本の部】

- ・ 長短借入金の減少 44億50百万円
- ・ 仕入債務の増加 29億77百万円
- ・ 利益剰余金の増加 19億45百万円

## 6.2013年3月期 上半期キャッシュ・フロー、各種経営指標

### 【連結キャッシュ・フロー計算書】

(百万円)

	2012年3月期	2013年3月期	増 減
営業活動キャッシュ・フロー	4,149	5,335	1,186
投資活動キャッシュ・フロー	▲ 2,746	▲ 3,246	▲ 500
財務活動キャッシュ・フロー	▲ 2,997	▲ 5,159	▲ 2,162
現金及び現金同等物の期末残高	9,506	7,646	▲ 1,860

#### 【営業活動キャッシュ・フロー】

- ・税金等調整前四半期純利益の計上  
44億42百万円
- ・減価償却費の計上  
22億39百万円

#### 【投資活動キャッシュ・フロー】

- ・有形固定資産の取得  
30億14百万円

#### 【財務活動キャッシュ・フロー】

- ・短期借入金の増減  
▲32億6百万円
- ・長期借入金の増減  
▲12億30百万円
- ・配当金の支払い  
4億45百万円

### 【各種経営指標】

(百万円、%)

	2012年3月末	2012年9月末	増 減
自己資本	31,146	32,821	1,675
自己資本比率	29.25	30.60	1.35
有利子負債	21,320	16,791	▲ 4,529
有利子負債比率	68.45	51.16	▲ 17.29

\*純資産合計から少数株主持株分を除いたものを自己資本としています。

# 2013年3月期 業績見通し

## 1.2013年3月期 年度業績見通し

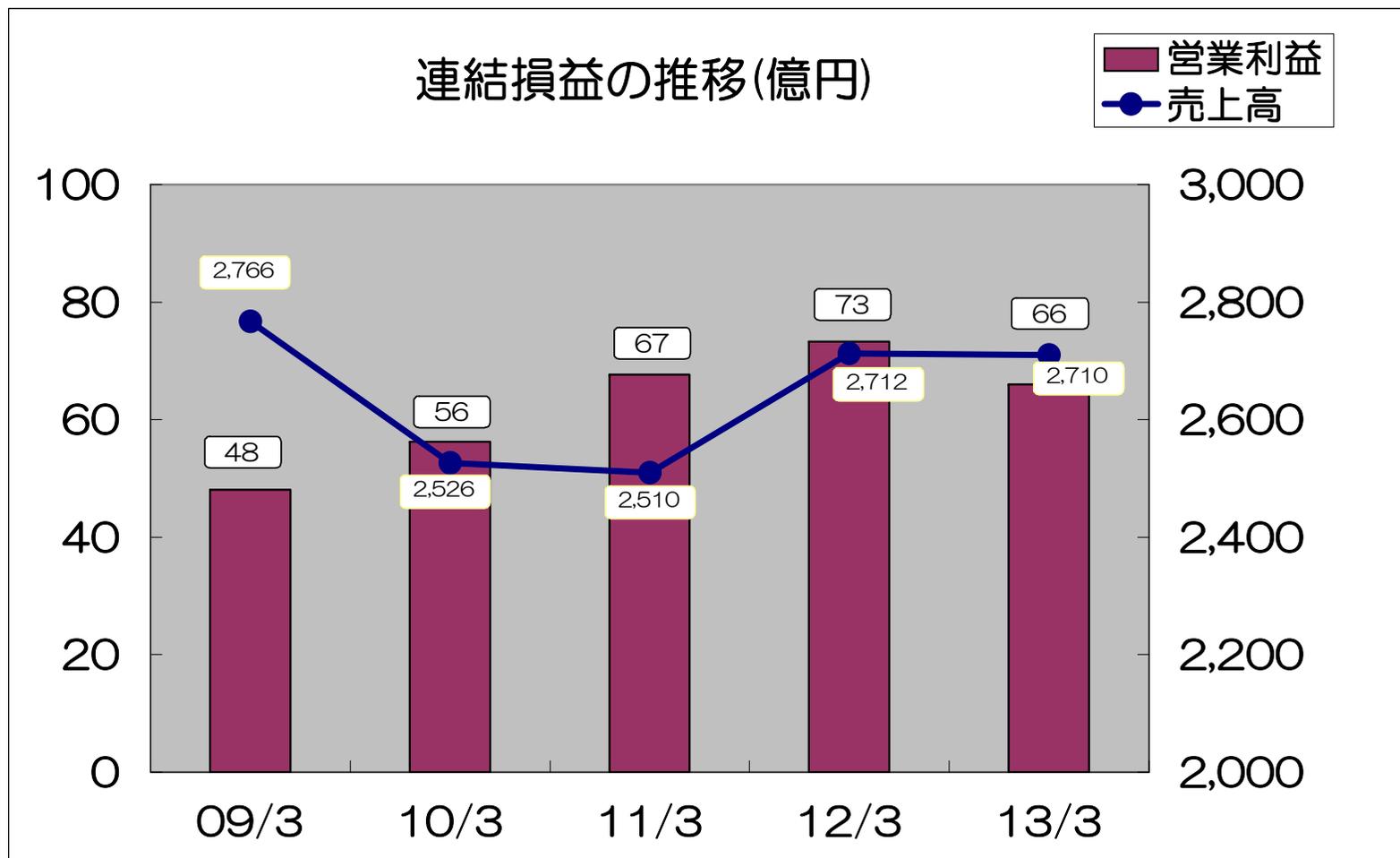
### 【連結損益】

						(百万円)	(参考)
				2012年3月期	2013年3月期	前期比	5月発表時
売上高 営業利益 当期純利益	業常 期純	利 利 純	高 益 益 益	271,222	271,000	99.9%	271,000
				7,327	6,600	90.1%	6,100
				7,554	7,200	95.3%	6,200
				4,497	4,300	95.6%	4,100

### 【セグメント別損益】

				(百万円)
		2012年3月期	2013年3月期	前期比
売上高	食肉事業本部	87,415	81,000	92.7%
	加工食品事業本部	183,404	189,700	103.4%
	その他	402	300	-
営業利益	食肉事業本部	1,749	1,000	57.2%
	加工食品事業本部	5,544	5,700	102.8%
	その他	33	▲ 100	-

## 2.業績の推移



(注) 2013年3月期は見通し  
 1億円未満は切り捨て

## 3.2013年3月期 食肉事業本部の下半期の取組み

### <事業の現況・課題>

- 国内食肉販売価格のデフレ継続
- 海外食肉価格の高値継続
- 米国产月齢緩和への対応
- 海外穀物高と日本の配合飼料高
- 疾病問題による食肉調達国リスク

### <施策・対応>

- 量販店、中・外食・惣菜チャネルへの提案営業強化と新規開拓
- 更なるオリジナルブランド化の推進
- 米国产牛肉の先物商談、早期提案営業の実施による得意先取り込み
- 米国产牛肉現地加工商品の開発と拡販
- 養豚事業のコスト低減
- 新たなオリジナルブランド豚の開発
- 食肉調達国のリスク分散

## 4.2013年3月期 加工食品事業本部の下半期の取組み

### 〈事業の現況・課題〉

- 低価格品へのシフト、原材料の高騰
- 歳暮ギフト拡大と第4四半期収益確保

### 〈施策・対応〉

- 主力商品を中心に販売活動を集中し、取扱店舗、売場展開の拡大を推進
- 積極的な提案営業により業務用商品の売上拡大
- コストダウンと効率化の継続
- 歳暮ギフトは「匠シリーズ」の新商品、「匠の膳」ブランド等の品揃え強化で前年比105%以上を目指す
- シーズン需要（秋～冬）の「鍋商材」等の売上拡大
- 新商品の早期投入
- キャンペーンの展開

## 5.成長戦略の進捗

海外におけるハムソー・  
加工食品事業の展開

### 中国におけるハム・ソーセージ製造販売事業

- ・ 合弁会社設立に関する契約書締結（5月17日）
- ・ 新会社設立（8月31日）→康普（呉江）食品有限公司
- ・ 江蘇省呉江汾湖経済開発区で工場建設地を選定中

伊藤忠飼料(株)との業務  
提携の推進

- ・ 種豚の導入を実施
- ・ オリジナルブランド鶏の生産委託

# ご 参 考 資 料

## 連結損益計算書の推移

### 【連結損益計算書:セグメント別】

(百万円)

	セグメント	2011年3月期			2012年3月期			2013年3月期				
		上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期実績	通期実績	1Q	2Q	上期実績	下期見込	通期見込
売上高	食肉事業本部	42,765	43,949	86,714	44,758	42,657	87,415	20,267	20,219	40,486		
	加工食品事業本部	80,639	83,310	163,949	90,841	92,563	183,404	45,306	48,576	93,882		
	その他	190	151	341	168	234	402	87	70	157		
	合計	123,595	127,410	251,005	135,768	135,454	271,222	65,660	68,866	134,526	136,474	271,000
売上原価		101,508	104,254	205,762	112,726	112,309	225,035	54,744	57,172	111,916		
売上総利益		22,086	23,156	45,242	23,042	23,145	46,187	10,916	11,694	22,610		
販売費及び一般管理費		19,011	19,464	38,475	19,302	19,557	38,859	9,304	9,650	18,954		
営業利益		3,075	3,691	6,766	3,740	3,587	7,327	1,612	2,043	3,655	2,945	6,600
営業外損益		131	104	235	261	▲ 34	227	317	71	388		
経常利益		3,206	3,795	7,001	4,001	3,553	7,554	1,929	2,115	4,044	3,156	7,200
特別損益		▲ 566	▲ 1,158	▲ 1,724	55	▲ 652	▲ 597	193	205	398		
税金等調整前当期純利益		2,640	2,637	5,277	4,056	2,901	6,957	2,122	2,320	4,442		
当期純利益		1,407	1,788	3,195	2,565	1,932	4,497	1,015	1,303	2,318	1,982	4,300

### (ご参照) 商品別の売上高

(百万円)

	商品別	2011年3月期			2012年3月期			2013年3月期				
		上期実績	下期実績	通期実績	上期実績	下期実績	通期実績			上期実績		通期見込
売上高	食肉	49,798	50,822	100,620	53,853	52,801	106,654			49,307		102,000
	ハムソー	27,715	27,631	55,346	29,393	28,319	57,712			30,691		61,000
	加工食品他	46,082	48,955	95,037	52,523	54,333	106,856			54,526		108,000
	合計	123,595	127,410	251,005	135,769	135,453	271,222			134,526		271,000

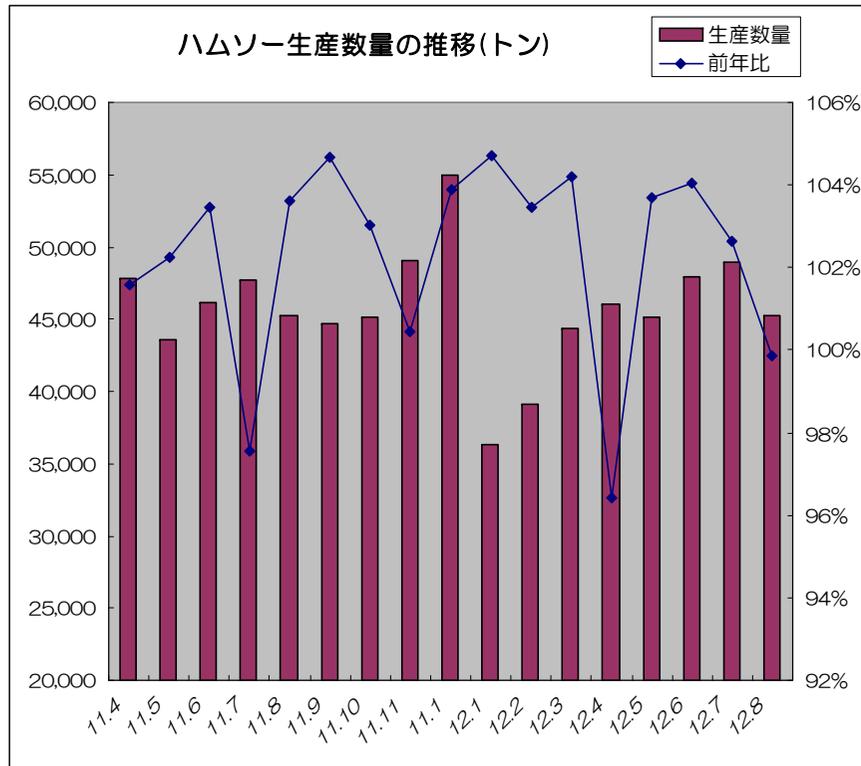
## 連結貸借対照表の推移

### 【連結貸借対照表】

(百万円)

	2011年3月期		2012年3月期		2013年3月期	
	上期末実績	年度末実績	上期末実績	年度末実績	1Q末	上期末実績
流動資産	50,151	47,065	51,571	52,693	54,784	52,443
固定資産	50,802	50,617	51,189	53,781	54,121	54,806
総資産	100,953	97,682	102,760	106,475	108,905	107,250
流動負債	48,347	43,765	48,868	49,031	50,912	48,490
固定負債	22,695	21,957	19,959	20,836	20,755	20,037
負債合計	71,042	65,722	68,828	69,867	71,667	68,527
株主資本	22,842	24,377	26,334	28,255	28,823	30,199
その他の包括利益 累計額	2,013	2,314	2,346	2,890	2,755	2,622
少数株主持分	5,055	5,268	5,251	5,461	5,660	5,901
純資産合計	29,911	31,960	33,931	36,607	37,238	38,722
負債純資産合計	100,953	97,682	102,760	106,475	108,905	107,250

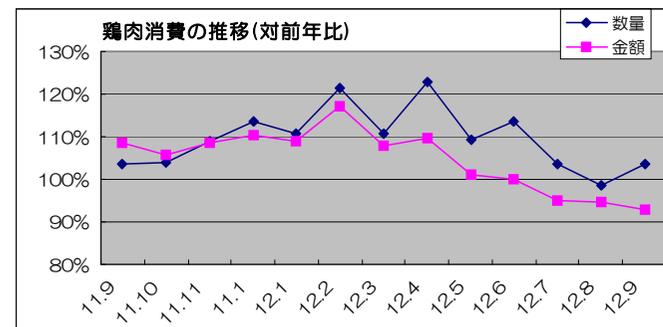
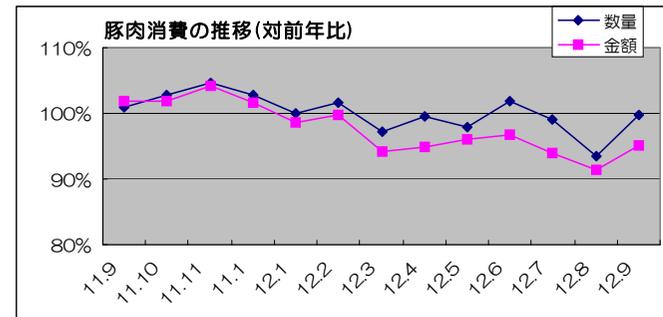
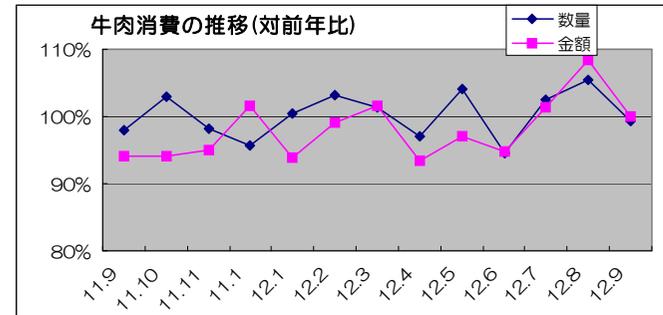
## 業界関連の資料



- 1.日本ハム・ソーセージ工業協働組合による
- 2.「やき豚」の生産数量を含む

● 2011年度の生産数量は  
 543,929トン(前年比102.6%)

● 2012年度の生産数量(4~8月累計)は  
 233,368トン(前年比101.3%)



1.総務省統計局 家計調査報告(全国・二人以上の世帯2世帯あたり)

新 商 品 の ご 紹 介

【NEW】



【秋・冬の商材】



## Profile

(2012年9月30日現在)

### ■ 会社概要

本 社	東京都品川区東品川4丁目12番2号 品川シーサイドウエストタワー
代 表 者	代表取締役社長 松井 鉄也
事 業 内 容	ハム・ソーセージ、食肉および 加工食品の製造・販売
設 立	1948年7月9日
資 本 金	33億6300万円
決 算 期	3月31日
従 業 員 数	2,358名(94名減)
事 業 所	営業拠点 7支店 41営業所 生産拠点 4工場
グループ会社	33社(2社減) 連結子会社 30社(2社減) 持分法適用関連会社 3社
企業集団 従業員数	11,838名(913名増)
グループ拠点	生産拠点 22工場(国内) 6拠点(海外)

(備 考)

増減は前年度末(2012年3月31日現在)との比較

### ■ 会社のあゆみ

1931年9月	金沢市に竹岸ハム商会を開設
1948年7月	高岡市に竹岸畜産工業株式会社を設立
1962年8月	東京、大阪両証券取引所第一部に上場
1965年5月	社名をプリマハム株式会社に変更
1984年3月	東京ディズニーランド公認スポンサーとして参加
2004年4月	三重工場「ISO14001」認証取得
2005年3月	プロ野球「東北楽天ゴールデンイーグルス」 オフィシャルシルバースポンサーとして参加
2005年4月	本社、他生産工場「ISO14001」認証取得
2007年5月	全国4工場(ハム・ソーセージ)「ISO22000」 認証取得
2008年7月	加工食品製造工場、物流部門「ISO22000」 認証取得(計26事業所で認証取得)
2010年4月	プロ野球「東北楽天ゴールデンイーグルス」 オフィシャルゴールドスポンサーとして参加
2011年9月	創業80周年を迎える

## 経営ビジョン

### おいしさ、ふれあい

お客様との絆を大切に、食の「おいしさ」、人との「ふれあい」を通じて楽しく豊かな食の未来を創造する。

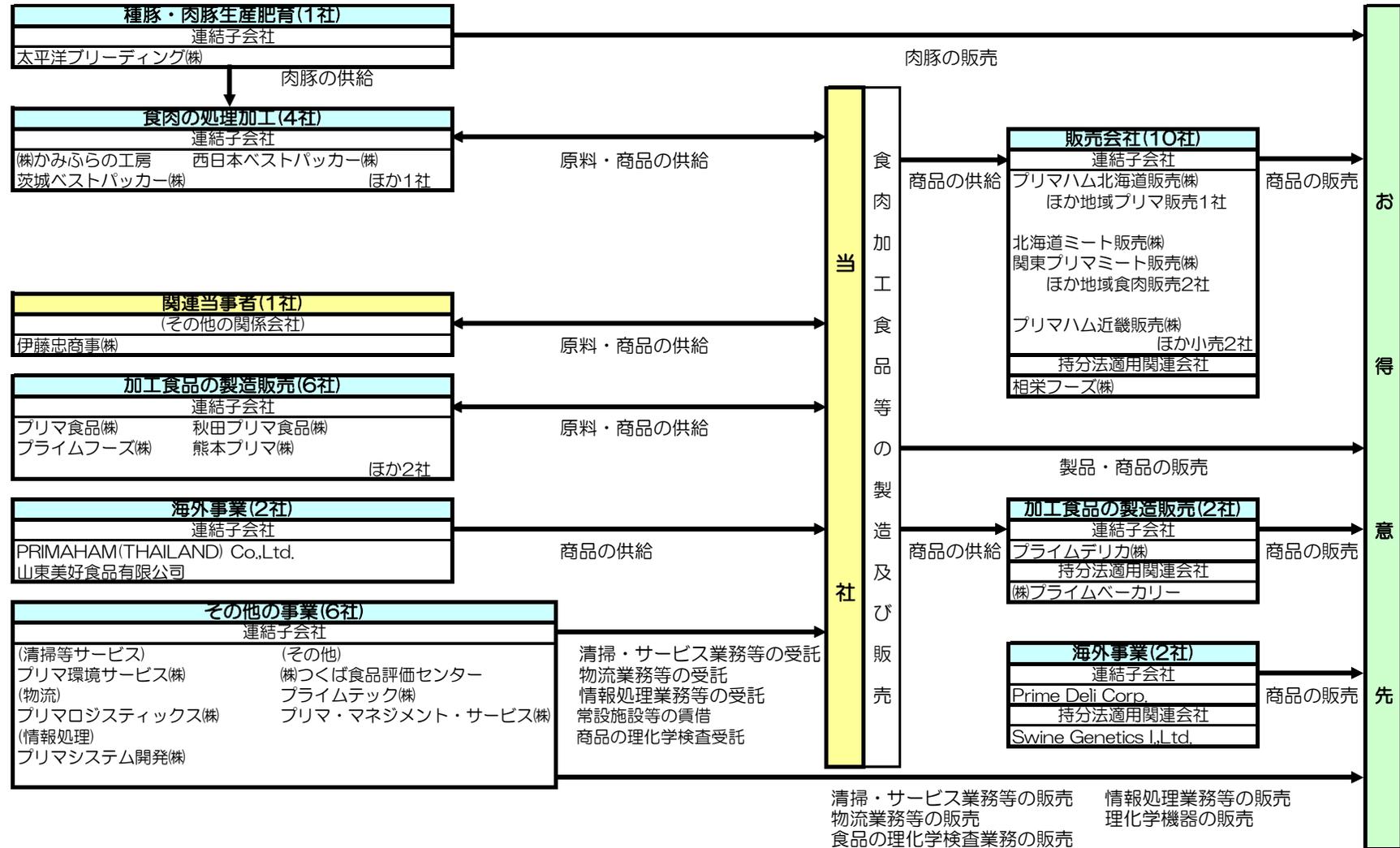
### 経営理念 —プリマの原点—

- 一、正直で基本に忠実
- 一、商品と品質はプリマの命
- 一、絶えざる革新でお客様に貢献

### 経営ビジョン

1. 一人一人が想像力、提案力とスピーディーな行動力を発揮し
2. 卓越した商品開発力と技術力を結集して  
総合力でお客様に安全でおいしい食品と関連情報を提供し  
健康で豊かな食生活に貢献する。
3. 果敢に自己変革して収益力のある総合食品企業に脱皮する。

企業集団の状況 (2012年9月30日現在)



## 注 意 事 項

本資料における将来の予想等に関する各数値は、現時点で入手可能な情報に基づく  
当社の判断や仮定のものであり、リスクおよび不確実性が含まれております。  
従って実際の業績等は、予想数値と異なる結果となる場合があります。

## お問合せ先

プリマハム株式会社 総務・広報部

TEL. 03-6386-1800

FAX. 03-5462-1701

ホームページアドレス <http://www.primaham.co.jp/>